

第1号議案

都立日比谷公園の
再生整備計画について
(諮問)

■ 日比谷公園の再生整備計画の策定について

1. これまでの取組

- ◆平成29年（2017年）10月 学識経験者等で構成する「日比谷公園グランドデザイン検討会」設置
（委員長：進士 五十八 福井県立大学学長）
- ◆開園130周年を迎える2033年までの長期的な視点に立って将来像を提言するために検討会実施（計4回）
- ◆パブリックコメント実施（平成30年10月～11月）
- ◆**平成30年（2018年）12月「日比谷公園グランドデザイン～5つの提言～」公表**

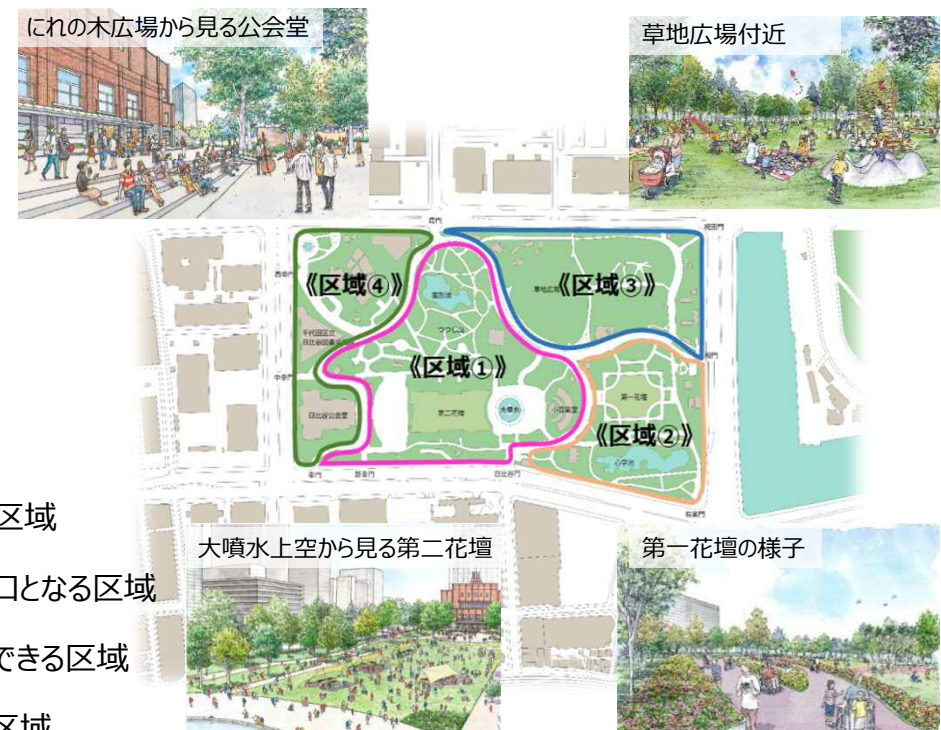
2. 日比谷公園グランドデザイン

◆5つの提言

- 誰もが迎え入れられ、心地よく過ごせる上質な公園
- まちと連携し、相乗的に新たな魅力を生み出す公園
- 歴史的、文化的価値を顕在化させた特別な公園
- 緑とオープンスペースのネットワーク形成の核となる公園
- 多様な主体と連携し、利用者の視点で運営する公園

◆日比谷公園の区域別将来像

- 【区域①】緑に包まれ誰もが思い思いに過ごし、賑わいの拠点ともなる区域
- 【区域②】江戸・東京の歴史を体感でき、丸の内・有楽町への玄関口となる区域
- 【区域③】皇居の緑との一体感が感じられ、多世代が生き活きと活動できる区域
- 【区域④】東京の歴史を学び、緑の中で文化を育み、まちに発信する区域



■日比谷公園の再生整備計画策定の諮問の主旨

- 昨年公表した「日比谷公園グランドデザイン～5つの提言～」を踏まえ、バリアフリー化やユニバーサルデザインを実現する施設の整備や改修、歴史的・文化的資源の活用、公園と周囲のまちとの回遊性強化、エリアマネジメント団体など、多様な主体との連携強化のあり方等を整備計画として取りまとめ、日比谷公園の再生を推進していく必要がある。
- さらに、公園の魅力を高め、上質な空間を実現し、それを将来に継承していくためには、導入すべき機能の設定や主要な施設の配置等に加え、各施設のデザイン等や、維持・運営の指針等も併せて示す必要がある。

■専門部会の設置

	氏名	役職	専門
部会長	シムラ アキ 下村 彰男	東京大学大学院 農学生命科学研究科教授	造園
	アノ 勉 栗野 隆	東京農業大学地域環境科学部准教授	文化財
	イトウ かり 伊藤 香織	東京理科大学理工学部教授	建築
	サカイ ア 坂井 文	東京都市大学都市生活学部教授	まちづくり
	フクオカ 勉 福岡 孝則	東京農業大学地域環境科学部准教授	造園

※部会長以外はアイウエオ順

■日比谷公園の再生整備計画の策定スケジュール（予定）

- ・令和元年10月8日 諮問
- ・令和2年 2月 報告
- ・令和2年 8月 中間まとめ
- ・令和3年 2月 答申